

# いまひとふくおか

# 田んぼ幅広く再評価を

「福岡県内のため池はいくつ?」「刈り取った後の稲から生えてくる稲を何という?」「アメンボの名前の由来は何?」

「コメ作りから農業の歴史まで、田んぼに関する幅広い知識を試す「田んぼ力検定」を企画した。

試験は8月、福岡市東区の九州大である。合否も出ない。高得点を取っても何の資格にもならない。試験が終わったら、みんなで一緒に答え合わせをする。「現役の農家から農業の技術者、子どもまで、田んぼでどれだけコメが取れるかだけでなく、歴史や文化など

色んな見方を語れる場にした」と話す。大分市の出身。福岡教育大で農業地理を学んだが、「決してまじめな学生ではなかった」。教員採用試験に落ち、博士課程で移ってきた九州大で転職が待っていた。

農業のことを知らない研究者が労働時間などの数値で農業をとらえ、農業についての学術論文を書いている。疑問を抱きながらも、自分はこれから何をすべきなのか、迷いを持ちながら、

1。迷いを持ちながら、県内の農家に頼んで田植えや稲刈りなど農作業を手伝った。そんななか、

会話にのぼった何げない一言が心に響いた。「今年は、山のあの木の花が咲くのが遅い」

自分の田畑だけでなく、周りの自然環境に向けるまなざしの広さや優しさを感じた。平日は大

学にいても、金曜日の夕方から農作業の手伝いに、人生勉強をさせてもらった」と振り返る。

農業や自然環境をめぐって、さまざまな企画を考えた。九州の新しい伊都キヤンパスが造られつつある

九大大学院農学研究科助教

佐藤 剛史さん (33)



農学部棟建物屋上の「ミニ田んぼ」と佐藤さん＝福岡市東区の九大で

## 歴史や文化、検定で共有

福岡市西区元岡で生き物の調査などをしてきた環境NPO「環境創造舎」の代表理事として、福岡市内の蔵元と手を組み、売り上げの一部を新キャンパス周辺の里山保全にあてる大学ブランドの日本酒「九州大吟醸」の生産・販売を進めている。「農家が田んぼにどんな生き物がいるのかを調べれば、お金が支払われる制度」が研究テーマの一つ。田んぼの価値をコメの収穫量などだけでなく、トンボやカエルなど生き物を育てる場所と位置づけ、それを守る対価として税金を使うという仕組みだ。県が「農の恵み事業」としてモデル事業を進行中で、政策立案にかかわった。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「ヤコが育てば、トンボのお父さんという気持ちになる。むちゃくちゃ楽しいですよ」

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

「田んぼで生き物を作っている」という価値を評価する風潮が生まれてきている」と、これからの広がりに期待を寄せる。

福岡市博多区の国指定史跡「板付遺跡の「復元水」で30日、子どもたちや保護者計約60人が田植えをした＝写真。「弥生時代の活を知り、文化財への理解を深めてもらいたい」と教委が主催した。78年に発見された弥生前期の水田跡を復元した

### 「弥生の田」で子供ら田植え

博多・板付遺跡

田(約300平方メートル)に、赤米、もち米の苗を植えた。保護者は弥生時代の貫頭衣まとった。同市東区の小学6年生、知ゆきさん(11)は「田んぼに入ったのは初めて。最初は泥の感触が気持ち悪かったけれど、慣れて気持ちよくなった。お米ができて仕組みがわかりました」楽しそうだった。



無料。拉致被害者の横田めぐみさんや増元のみみ子さん、松木薫さんらの家族

郷土史研究家 取り組み紹介 取り組んだ「高取焼400年祭」を説明。「一過

古道具品を買い受けます

九州(日付) 国土(防災) 企画部 岡河川 真二(代中) 田中泰(星文) 事務(官) 道務(道調) 道務(整管理) 所長(今井) 課長(筑後) 課長(会計) 剛(左々) 佐々木(長) 課長(後川) 池川(山龍) 山龍(大隈)